

お客さま 各位

釧路信用金庫

令和5年度地域密着型金融の取組状況について

令和5年度地域密着型金融の取組状況について以下のとおりご報告いたします。

1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化

(1) 創業期・新規事業展開期における支援

- ◎新規創業支援について、全店での取扱は57件、564百万円の実績となりました。
- ◎新事業展開時における各種補助事業等の申請支援や、公的機関の支援コーディネートにも積極的に取り組んでおります。

(2) 成長期における支援

- ◎成長期における支援について、ビジネスマッチングを中心に以下の取組みを行いました。
公益財団法人北海道中小企業総合支援センターと共催で、販路拡大商談会をWEBとリアル
のハイブリッド形式にて実施しました。本イベントは過去5回実施（今回6回目）、釧路管内
事業者4社と十勝管内事業者2社の計6社が、どさんこプラザを運営する北海道百科等と面
談を行い、自社商品アピールのみならず商品ブラッシュアップのアドバイスもいただきまし
た。オンラインも可としたことで、当金庫の十勝の取引先業者も積極参加するなど、オンラ
インの強みを生かした商談会が実施できました。

(3) 経営改善期における支援・事業再生期における支援

- ◎営業店と企業支援グループが連携した企業支援活動
営業店や審査部に設置されている企業支援グループが中心となり改善計画の進捗状況の管
理や経営指導・アドバイス等を行いました。
- ◎認定支援機関との連携
経営改善支援の実効性向上を図るため、認定支援機関との連携により経営改善計画策定支
援事業の活用に取り組みました。

(4) 事業承継期における支援

- 一般社団法人しんきん支援ネットワーク（旧名称：一般社団法人しんきん事業承継ネット
ワーク）との連携により、事業承継個別相談会を開催し、経営者の皆さまの相談に対応いた
しました。また、信金キャピタル株式会社と連携した支援も実施しております。

2 地域の面的再生への積極的な参画

(1) 地域全体の活性化、同時的・一体的な「面」的再生への取組

当金庫、本店営業部にて「#笑えるくらい涼しい」をタイトルにパネル展を開催。釧路商工会議所や地域の事業者の皆様と共に釧路の涼しさをPRし、観光客や長期滞在者の誘致、また人口の増加や移住の促進を目指す取組みとなっております。パネルは、釧路川でのカヌー一川下り、いくら井、お祭りの写真などが使用されており、「#笑えるくらい涼しい」のタイトルとともに釧路ならではの写真を色鮮やかなパネルで表現しております。

またこの取組みは、来年10月に創業100周年を迎える周年事業の一環として、「夏 涼しいまち 釧路」観光応援団事業として実施することとなり、釧路市内の各店舗でもパネル・ポスターの展示を開始し、また信金中央金庫、東京海上日動火災保険株式会社などの協力を得て、道外でも展示を開始しております。

(2) 地域活性化につながる多様なサービスの提供

地域の活性化に向け、以下の取組みを推進しました。

◎お取引先に対して各種補助事業などの情報提供及び支援を行いました。

◎釧路しんきん地域貢献表彰制度において、「地域貢献奨励賞」、「学生調査研究奨励賞」として、以下の方々を表彰しました。

【地域貢献奨励賞】

(一社) 学校地域協働センター ラポールくしろ

子どもたちのキャリア教育とプログラミング教育を推進するため、教員やITコーディネーター等が協働し2018年に設立。子供たちが自分らしい生き方を実現するためのキャリア・デジタル教育普及に尽力している。2023年9月には放課後の居場所として子どもたちが無料でIT技術機器を利用できる【デジラポ】を開設。組織化する以前から小学校等と連携しプログラミング教室を提供、地域住民等とIOTハッカソン開催にも協力。K-Biz等と連携し、教職員・学生・地域住民へ人材・キャリア育成等のセミナー・講習会を無料にて提供している。子どものキャリア・デジタル教育の場所を提供するというDXを担う将来の地域人材を育成するという一貫した取組等が高く評価され受賞となりました。

ひがし北海道市民防災サポート

2019年設立。大規模な水害等、甚大化する自然災害を想定しながら、災害時の相互支援体制を構築するため、地域防災サポーターや災害ボランティアの養成、市民向けの防災セミナー、スクールの開催などに尽力している。最近では[ひがし北海道防災スクール]をショッピングモール(昭和イオン)で実施、多くの市民が来場するなど防災意識の啓発に努めた。滅多にない自然災害について、【自助・公助】の考え方を着実に普及させるため、クイズ・イベント形式など啓発に工夫した独自の取組みは、若い人や子供にも配慮したわかりやすい草の根的な活動であり、その活動が評価され受賞となりました。

くしろウインターパーク実行委員会

2021年商工会議所青年部主催 [くしろウインターパーク] と、ひがし北海道スポーツコミッション主催の [くしろアイスパーク] が協力し、光と音の演出による屋外リンクイベントを開催、2022年にこの2団体が [現・実行委員会] として新たに組織され実施。地域住民が冬場に遊び集う場所の創出と、運動不足の解消に向けた健康促進に繋がるイベントとして、更には観光客誘致イベントとして地域経済の活性化に努めている。氷都釧路を代表するイベントとして着実に定着してきており、観光客誘致・スポーツツーリズムの普及・貢献が高く評価され受賞となりました。

桜育ての親実行委員会

市内の緑化を推進する【緑いっぱい市民運動世話人会】メンバーを主体に、平成10年に【桜の幼苗の里親プラン実行委員会】として創立。堆肥の一般販売による益金は樹木草花の育成費用・桜守活動に充てており、学校などには現物を無償配布している。近年は釧路八重桜の保存保護活動に取り組む。設立から長く他の団体や学校等へ寄付を実施するなど、の慈善活動、団体としての自立した安定的な活動実績、釧路八重桜・鶴居丹頂八重桜など、釧路の新たな桜ブランドの認定支援に尽力している点が評価され受賞となりました。

【学生調査研究奨励賞】

釧路工業高等専門学校 鶴橋 由貴 氏

テーマ：溶接姿勢別技能と電流・電圧・温度の関係分析とスキルアップ指針提示

溶接技能の差はそのまま製品の品質に影響を及ぼす。特に溶接時の姿勢に応じて顕著に差があらわれる。本研究は地元の機械製造メーカーの全面協力を得て、熟練社と初心者の溶接中の電流等を実測しその関連性を明らかにして、短期間でスキルを向上させることを目的とした研究。

アーク溶接技術について、これまでの研究とは違いが明確で、本研究において熟練者との姿勢技術差異をデータ化することで初心者の早期スキルアップ向上に繋がる実証ができれば地元企業にも貢献し、ポジティブで意義のある研究であると思われる点が評価され受賞となりました。

釧路工業高等専門学校 内田 陽介 氏

テーマ：プログラミングコンテスト競技人口の増加とIT技術者養成を目的とした競技サーバーのクロスプラットフォーム化に関する研究

競技プログラミング活動は、学校の教育では修得が不十分とされている問題解決力、論理的思考等の修得に効率的であるものの、当地では今までは一部の限られた人しか参加できず、競技人口が少なかった。競技参加者の増加を目指すために、本研究でサーバーの形式をクロスプラットフォーム形式に拡張、それにより当地でのITスキル人材の育成に尽力する。

プログラミングの競技人口を増やすためサーバー形式に汎用性を求めるという研究は、地元のDX人材の人材育成・生産性向上に大いに貢献したいという意義ある研究と思われる点が評価され受賞となりました。

3. 地域や利用者に対する積極的な情報発信

◎ 「金融教育講座」の実施

◎ ディスクロージャー誌、PR誌による積極的な情報発信

平成5年より「ディスクロージャー誌」を発行し、当金庫の業務や職員の紹介、地域情報などを発信しています。

◎ ホームページによるタイムリーな情報発信

商品情報やセミナーの開催情報など、様々な情報をわかりやすく発信しています。

以 上